

## オーストラリア短期留学 現地レポート アルバム No.2

7月31日(水), 引率教師からメールが届きました。

「日本を発って7日目、ちょうど全日程の半分まで来ました。生徒たちはこちらでの生活を楽しんでいます。シルバニア高校には毎日8時半頃に登校しています。1時間目は皆一緒に授業を受けて、2時間目から6時間目まではそれぞれのバディ(ひとりずつと一緒に授業にでたりお世話をしてくれるバディという仲間をつけてくれています)と一緒に各々別々の授業に参加しています。日本にはないドラマの授業やフランス語の授業もあります。昼休みには、それぞれバスケをしたりサッカーをしたりおしゃべりをしたりしています。学校はとても自由な雰囲気です。そして授業が3時に終わると、生徒たちはすぐに帰宅してしまいます。部活はないので学校はあっという間に空っぽになります。この辺は桜ノ牧とは全然違いますね。残りの日々もシルバニア高校の生徒たちとしっかり交流を深めて行きたいと思います。」

そして、7月29日(月)から始まったシルバニア高校での5日間はあっという間に過ぎて、8月2日(金)の最終日を迎えてしまいました。

### ●授業の様子です





●最終日 昼食は牧高生が日本料理を用意しました



● “We really enjoyed our stay. Thank you for hosting us. We’ ll never forget you.”



お別れ会で、本校生は、日本語クイズ、日本の遊び、AKB48 のダンスを披露し、感謝のスピーチを行いました。シルバニア高生は創作ダンスそして日本語で「手紙～拝啓 十五の君へ」を歌ってくれました。





オーストラリア国花の「ワトル」校内のあちこちに咲いていました

校門前のメッセージボードには、“Farewell Sakuranomaki High School. We hope you enjoyed Sylvania.”と書かれていました。